ふっさ 市議会だより

No.248　令和8年10月25日
発行／福生市議会

〒197-8501　福生市本町5番地
☎042（551）1511（代表）
☎042（551）1523（直通）

X（旧Twitter）

Facebook



▲令和8年度福生市民総合スポーツ大会総合開会式

令和8年第3回定例会
9月1日～9月30日

令和7年度 各会計決算を認定
福生よいとこ議会基本条例を制定

令和8年第3回定例会は、9月1日から9月30日までの会期30日間で開催されました。

条例の一部改正や補正予算など、市長提出議案16件、福生よいとこ議会基本条例など、委員会提出議案2件、議員提出議案1件が審議されました。

また、16名の議員による一般質問が行われ、新たに広報広聴委員会が設置されたことから、委員の選任が行われました。

市民等から新たに提出された陳情2件は、いずれも不採択となりました。

令和７年度　一般会計決算の款別内訳

（）内の数字は合計に占める割合

歳入	令和７年度	令和６年度	歳出
86億4,502万1,091円（26.4%）	市税	民生費	150億4,576万7,794円（48.4%）
70億476万694円（21.4%）	国庫支出金	教育費	39億6,450万7,967円（12.7%）
49億5,166万6,616円（15.1%）	都支出金	総務費	31億4,117万8,495円（10.1%）
38億196万6,000円（11.6%）	地方交付税	衛生費	26億5,758万2,449円（8.5%）
17億8,101万8,000円（5.4%）	基地交付金	諸支出金	22億6,591万9,846円（7.3%）
17億5,616万7,220円（5.4%）	繰入金	土木費	16億4,569万1,598円（5.3%）
14億8,579万6,000円（4.5%）	地方消費税交付金	消防費	10億177万6,973円（3.2%）
14億7,414万2,801円（4.5%）	繰越金	公債費	6億8,973万3,233円（2.2%）
3億6,950万6,400円（1.1%）	使用料及び手数料	商工費	3億3,599万7,503円（1.1%）
3億3,300万円（1.0%）	市債	議会費	2億9,607万1,010円（1.0%）
11億5,139万5,811円（3.6%）	その他	農林水産業費	6,019万6,702円（0.2%）
歳入合計　327億5,444万633円		歳出合計　311億442万3,570円	

国有提供施設等所在市町村助成交付金等

諸収入
法人事業税交付金
株式等譲渡所得割交付金
配当割交付金
地方譲与税
分担金及び負担金
財産収入
地方特例交付金
利子割交付金
環境性能割交付金
寄附金
交通安全対策特別交付金
自動車取得税交付金

◆会議の開催状況と審議日程◆

▼8月
14日　議会運営委員会
24日　議会運営委員会

▼9月
1日　本会議1日目
議会運営委員会
2日　本会議2日目
議会運営委員会
3日　本会議3日目
議会運営委員会
4日　本会議4日目
決算審査特別委員会
8日　決算審査特別委員会1日目
9日　決算審査特別委員会2日目
10日　決算審査特別委員会3日目
11日　決算審査特別委員会4日目
15日　建設環境委員会
16日　市民厚生委員会
17日　総務文教委員会
18日　横田基地対策特別委員会
25日　議会運営委員会
30日　本会議5日目
広報広聴委員会
全員協議会
広報広聴委員会

▼10月
16日　議会運営委員会
広報広聴委員会

主な内容

◆一般質問（要旨）……2～4面
◆令和7年度決算の概要……5面
◆議案の審議結果……6面
◆可決等された案件……6面
◆委員会の審査等……7～8面
◆特別委員会活動等……8面

再生紙を使用しています。
VEGETABLE OIL INK

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は１～２問とし掲載しました。
会議録は11月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。
また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。
なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。
※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

◀議員BOOK
▶福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

横田基地について

正和会
小林 貢 議員



質問　アメリカ空軍第４偵察飛行隊の横田飛行場への移転に関する情報提供内容等について伺う。

市長　配備されるグローバル・ホークは３機で今年の夏から移転を開始。横田飛行場の面積や施設の拡張はない。騒音の影響は小さい機体であり、偵察用に開発された非武装のアセットであることから周辺に与える影響は大きく変化するものでない旨、北関東防衛局より説明を受けた。市では、市民への負担が少しでも軽減されるよう基地周辺対策に力を入れていただくことなどを要請した。

令和８年度福生市総合防災訓練について

質問　訓練の内容について伺う。

市長　10月４日の避難所開設運営訓練では、改良した「アクションカード」や「避難者情報管理システム」を用いて訓練を行う。10月15日の災害対策本部運営訓練は外部専門組織に支援を委託し、効果的な訓練実施と評価に基づく課題改善を行う。



▲総合防災訓練（避難所開設運営訓練）の様子

匿名・流動型犯罪の低年齢化について

正和会
森田 哲哉 議員



質問　児童・生徒が犯罪に巻き込まれないようどのような取り組みを行っているのか。

教育長　学校に対し生活指導通知で闇バイトの危険性について児童・生徒を指導することを明記している。学校では「GIGAワークブックとうきょう」を活用した情報モラル教育を実施しており、福生第三中学校では警察官を講師に招いたセーフティ教室において、SNSの使い方や闇バイトの危険性を取り扱った。また、夏季休業中にも生徒や保護者に注意喚起を行っている。

福生市立学校における防災教育について

質問　本市の取り組みを伺う。

教育長　学校に対し実践的な防災学習を展開するよう指導し、東京都作成のデジタル教材「防災ノート～災害と安全～」等の活用や、各学校では年間11回以上避難訓練を実施。様々な場面や時間帯での災害発生を想定した防災訓練を行っている。



教職員等による性犯罪･性暴力をなくすための取組について

立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問　学校において教職員による児童・生徒への性犯罪、性暴力、わいせつ行為等を防止するため、本市の取り組みを伺う。また、教職員と生徒とのSNS上の個別のやり取りについてルールはあるのか。

教育長　教育委員会では、年間11回開催する校長会・副校長会等で、全教職員に対して児童・生徒に対する性暴力は絶対にあってはならないことを繰り返し指導するよう徹底を図っている。また、毎年度４月、全小・中学校の校長は「服務事故防止研修」を受け、受講後所属校において自ら講師となり、４月、７月、12月の年３回、教職員の実態を踏まえた研修を行い、教職員が当事者意識を持つよう、繰り返し指導している。また、教職員の服務に関するガイドラインでは「管理職の承認を受けることなくSNS等で児童・生徒と私的なやり取りを行ってはならない」とされ、違反した場合は懲戒処分の対象となり得る。



市税等の収納対策について

正和会
仲間 正司 議員



質問　生活困窮者、外国人への制度の周知、適正な納付への取り組み等、これまで以上にきめ細かな収納対策が求められていると考えるが、本市の対策を伺う。

市長　生活が困難な方に対しては、事情を十分に確認したうえで、分割納付や猶予制度等に適切に対応し、必要に応じて関係機関等に案内している。外国人の方には、多言語にて制度の周知が図れるよう取り組んでいる。適正な納付への取り組み等については、期限内に納付されている方との公平性を確保する観点から、早期徴収に努め、徹底した滞納整理を実施しているほか、外国人の滞納額や人数などのデータを分析し、効果的な催告や納税啓発等の収納率向上対策を実施している。また、納付しやすい環境整備を進めるため、口座振替やコンビニ納付等の納付方法別の集計・分析も実施している。今後も様々なデータを活用し、収納率向上に取り組んでいく。



窓口サービス向上に向けた取組について

正和会
山崎 貴裕 議員

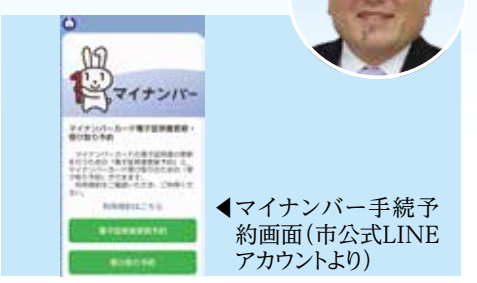


質問　マイナンバーカードの手続の窓口利用者数や予約制の状況は。

市長　カードは10年ごと、電子証明書は５年ごとの更新手続が必要で、令和９年度には来庁者は更に増えると想定。本年２月から開始した予約制が徐々に定着し、約６割が予約の上来庁されるため待ち時間は短くなっている。

質問　窓口受付時間変更の効果と今後の窓口運営の考え方を伺う。

市長　受付時間変更により、これまで時間外勤務で対応していた事務処理の時間が確保され、制度改正への対応、業務改善の検討も行いやすくなった。今後については、総合窓口課での試行実施の結果、効率的な業務遂行や時間外勤務削減などの効果を検証することができたため、10月からは対象部署を拡大し、受付時間変更を本格実施するとともに、オンライン申請や予約制の拡充を加速し、市民サービスの維持・向上と業務の効率化の両立に努めていく。



◀マイナンバー手続予約画面（市公式LINEアカウントより）

防災について

公明党
川﨑 善友 議員



質問　避難行動要支援者の個別避難計画作成について進捗を伺う。

市長　個別避難計画はこれまで田園地区を優先地区として作成。本年度は対象を市内全域へ広げ、避難行動支援希望者494名に調査票を発送、併せて関係する支援団体に対し本事業の概要説明を実施。今後は調査票の内容確認、避難行動要支援者管理システムへの登録等を行い、令和９年１月頃より順次個別避難計画書を郵送予定。

多文化共生について

質問　本市の取り組みと外国人住民用相談窓口設置に係る所見を伺う。

市長　各窓口での多言語対応や多文化共生講演会の実施、「やさしい日本語」を含む10言語での字幕による防災啓発動画の作成、多文化キッズサロン「うぇるかむ」の開設など、各部署で広く取り組んでいる。相談窓口の設置については、取り組みの現状と課題を整理し、市全体で多文化共生に係る体制を考えていく。



▲多文化キッズサロン「うぇるかむ」

横田基地日米友好祭における来場者対応について

公明党
堀 雄一朗 議員



質問　例年、渋滞や生活道路への車両流入、長い待機列などの問題が発生しているが、所見を伺う。

市長　毎回、開催に際し横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会及び市単独で国と米軍へ安全・交通対策を要請している。市では公共交通機関利用の周知や無断駐車及び違法駐輪防止対策を実施。今後も関係機関等と連携を取りながら、来場者の安全確保と周辺住民の生活環境の確保のために取り組んでいく。

頼れる家族のいない高齢者の生活・終活支援について

質問　本市の所見を伺う。

市長　令和８年６月の社会福祉法等の一部改正で実情に応じた包括的支援体制が拡充され、日常生活自立支援事業の対象に、身寄りがなく日常生活に支障がある高齢者等が追加され、さらに死後の手続等を含む日常生活支援が所得に応じ無料または低額での提供が可能となる。引き続き関係機関と連携し支援に努めたい。



米軍横田基地について

日本共産党
市毛 雅大 議員



質問　重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律の改正内容を伺う。

市長　北関東防衛局から、６月の国会で法律の一部を改正する法律が成立し、７月に施行されるとの情報提供があった。改正内容は対象施設周辺地域として指定すべき地域の範囲が対象施設の敷地または区域及びその周囲おおむね1000メートルに拡大するなど。また、横田飛行場における対象施設の区域及び対象施設周辺地域図などが提供された。

質問　今回の規制区域拡大により、市民や市内事業者にどのような影響と手続が生じると認識しているか。

企画財政部長　新たに対象区域に含まれた区域では飛行許可・承認手続等の法的手続に加え、北関東防衛局や福生警察署への事前相談や届出などが別途必要になる。市ではホームページで防衛省のリンクを掲載しているほか、お問合せには北関東防衛局の連絡先を伝えている。



生活保護制度を含めた生活困窮者対策について

日本共産党
伊藤 広美 議員



質問　本市の取り組みを伺う。

市長　生活保護制度を含めた相談支援を基本に、就労意欲のある方には就労支援や住居確保給付金の給付、就労に不安のある方には就労準備支援、家計の不安には生活福祉資金を活用した家計改善支援など、個々の状況に応じ支援を実施。近年は問題や課題が複雑化・複合化する傾向にあり、重層的支援体制整備事業として各分野の相談支援機関と連携した包括的支援体制を強化している。

子どもの人権を守り、多様性を尊重する性教育の取組について

質問　人権教育としての性教育について認識を伺う。

教育長　学校における性教育は、児童･生徒の人格の完成を目指す「人間教育」の一環として、人間尊重の精神に基づき行われる。各学校は、都教育委員会の「性教育の手引」に基づき、発達の段階に応じ、生物的･心理的・社会的側面に加え生命の尊重からも総合的に指導している。



子どもの体力向上について

正和会
清水 義朋 議員



質問　文部科学省の令和７年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、小・中学生の体力合計点は上向き傾向だが、中学校男子を除きコロナ前の水準に至っていないとあったが、本市の体力テストの状況や体力向上策を伺う。

教育長　令和４年３月に運動習慣の確立や体力テストを活用した課題把握・目標設定を含めた「福生市立学校の体力向上策（第２次）」を策定。令和７年度は全国平均と比較し、体力合計点が前年度を上回り改善が見られ、中学校では都の平均を上回った。一週間の運動時間が長く、目標を立てて取り組む児童・生徒は体力合計点が高い傾向だが、中学校では体育の授業を楽しいと回答する割合が低下傾向で、体力向上には運動の楽しさや達成感を味わえるよう、学校生活全般で体育的活動の充実が重要と考える。本年度が計画の最終年度のため成果と課題を検証し、第３次計画の策定を進めていく。



行政サービスのデジタル化について

公明党
原田 剛 議員



質問　本市の取り組みを伺う。

市長　利便性向上と事務効率化を図るため、LINE公式アカウントを主要な接点とした情報配信や各種申請手続の案内、ノーコードツール導入によりニーズに応じた申請手続の電子化を進めている。また、マイナポータル連携による本人確認機能の実装や申請ポータルとの連携により24時間365日の申請が可能となった。今後はデジタルに不慣れな方にも配慮し、対象手続を拡大していく。

障がい者の親の高齢化に伴う相談及び支援について

質問　相談支援の中核を担う基幹相談支援センターの役割を伺う。

市長　当センターは、障害者総合支援法に基づき障害者や家族を総合的に支援する機関である。本市では、有資格者のケースワーカーを配置し、関係機関と連携。適切な障害福祉サービスにつなげるほか、意思表示ができない場合は成年後見制度を利用するなど包括的に支援を行っている。



ジュニア社会教育士について

公明党
青木 健 議員



質問　子どもたちが早い段階から社会教育やまちづくりへの理解を深め、地域活動の担い手として成長する機会を提供する「ジュニア社会教育士養成講座」は、本市独自の取り組みとして、先進的で時宜を得たものと考える。本講座の成果と課題、今後の発展に向けた所見を伺う。

教育長　ジュニア社会教育士養成講座は、約７か月にわたり社会教育士の役割を理解し公民館主催講座に企画委員として参加、市民向け講座の立案を行う。令和６年度の開始からこれまで25名にジュニア社会教育士の称号を授与してきた。成果として、公民館活動に児童・生徒が参加する仕組みができ、講座終了後も６名が主体的に公民館事業に携わっている。課題は、職員が手探りで企画、実施してきた内容を踏まえ基本的なカリキュラムを作成することである。今後も子どもたちが地域の一員としての自覚を育み将来を担う人材となるよう本事業を継続、実施していく。



▲ジュニア社会教育士養成講座の様子

若年層・子育て世代の住まいの確保の支援について

日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問　本市では、現在20~40代の転入超過が続いている。これまでの子育て世代の定住化促進に向けた取り組みは、新築住宅取得や空き家除却が主であったが、民間住宅ストックを安価に提供するアフォーダブル住宅等の政策も必要と考える。都内他自治体での家賃補助、住宅ストック活用の先進事例を踏まえ、本市の民間賃貸住宅の空き室状況と、アフォーダブル住宅の取り組み、先進事例への所見を伺う。

市長　空き室状況調査は行っていないが、令和５年の国の調査では賃貸住宅空室率は約15％と推計される。都が推進するアフォーダブル住宅が市内に確保された際は周知を行うが、市営住宅にも空室があるため本市独自の取組予定はない。他自治体の先進事例は住まいの福祉施策と認識。住まいに困窮する方から相談を受けた場合は、公的賃貸住宅の案内やセーフティネット住宅などの情報提供を行っている。



平和学習広島派遣事業について

正和会
武藤 政義 議員



質問　平和学習広島派遣事業の現時点の成果と今後の展望を伺う。

市長　市内の忠霊塔や郷土資料室を訪れるなど、自分たちが暮らす地域の歴史に触れた事前学習と広島での学びを重ねながら、中学生が平和について自分自身の問題として深く向き合えたことが大きな成果と考える。今後の展望として、平和への思いを自分たちの言葉や表現によって伝えていくことができる、より効果的な学習の場となるよう成果と課題を検証し、事業の拡充を図っていく。

町会・自治会について

質問　本市の町会・自治会は現在加入率が30％を切っているが、その状況について本市の認識を伺う。

市長　まちのにぎわいの創出や環境美化だけでなく、地域の防災や防犯にも影響を与えるものと認識している。町会・自治会は市民主体のまちづくりを進める上で欠かせないため、今後も各団体の自主性を尊重しながら適切な支援に努めたい。



▲平和記念公園を訪問し平和について学ぶ生徒たち

市内の公園の環境整備について

スポーツ・文化を通じて人づくりと街づくりの会
幡垣 正生 議員



質問　公園のトイレが汚れていて使えないという声があるが、本市の公園トイレの管理状況を伺う。

市長　トイレを含めた公園の適正な維持管理は重要な課題であると認識している。本市が管理する76公園のうち、トイレが設置されている公園は61公園あり、トイレの清掃やトイレットペーパーの補充などについては、使用頻度等を考慮して公園ごとに回数を決め、福生市シルバー人材センター等に委託して行っている。

中央体育館について

質問　今年度の中央体育館の整備計画について伺う。

教育長　中央体育館は、建築後53年が経過し老朽化が進んでいるが、福生市個別施設計画に基づき、予防保全等を実施し、安全・安心な施設運営に努めてきた。令和８年度から９年度にかけて、空調の設置やバリアフリー化などの機能強化を図り、一層、安全・安心な施設へと整備するため、大規模改修工事を実施する。



包括的性教育の普及啓発について

生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問　令和６年度、本市の男女共同参画情報誌「あなたとわたし」で包括的性教育が取り上げられた。人権を尊重することを前提として性について広く学ぶ包括的性教育は、2009年にユネスコが発表した国際セクシュアリティ教育ガイダンスに沿った国際基準の性教育である。子どもが自分と他者を大切にし、健全な人間関係を築き、幸せに生きていくための教育として学校教育で行われることが望ましく、これまで学ぶ機会のなかった大人にも広く浸透させていく必要があると考えるが、普及啓発の必要性について所見を伺う。

市長　包括的性教育は、人間関係やジェンダー平等など幅広いテーマを含み、自分で望んだ選択をするため正しい知識やスキルを身に付けることを目的とする。誤った情報にさらされる現代において、子どもに寄り添う大人も正しい知識を持つ必要がある。今後もセミナーや情報誌を活用し普及啓発に努める。



▲「あなたとわたし 67号」の表紙

ご利用ください　市議会インターネット中継



パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴できます。

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆配信内容　本会議のライブ映像と録画映像
◆利用方法　福生市公式ホームページ「福生市議会」よりアクセス

福生市議会インターネット中継

令和７年度個人情報保護制度運用状況

福生市議会の個人情報の保護に関する条例第53条の規定により次のとおり公表します。

制度の詳細はQRコードからご覧いただけます。

▼個人情報ファイル簿等の件数

区分	個人情報ファイル簿	個人情報目的外利用登録簿	個人情報外部提供登録簿
件数	4	0	0

▼保有個人情報の開示請求等、個人情報保護審査会の状況

保有個人情報の開示請求、訂正請求、利用停止請求はありませんでした。

また、福生市議会の個人情報の保護に関する条例第47条(審査会への諮問)及び第52条(審査会への審議に関する諮問)に該当する事案はありませんでした。

令和7年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用した一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算は、16名で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。

また、特別会計決算は市民厚生委員会、企業会計方式の下水道事業会計決算は建設環境委員会で審査し、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

令和7年度決算の特徴点について

問　主な内容を伺う。

答　決算規模は令和6年度の都市施設整備基金等3基金を統合した影響で歳入歳出ともに大幅な減。歳入は327億5400万円で前年度比15・3％の減。歳出は311億4000万円で前年度比16・4％の減。なお、基金の統合の影響額約68億円を除くと、歳入歳出ともに増で、歳入は市民税やデジタル基盤改革支援補助金の増、歳出は地方公共団体情報システム標準化事務の増によるものである。

令和7年度の公共施設の修繕状況について

問　実施状況を伺う。

答　公共施設グループにて執行した令和7年度の修繕は公共施設全体で78件。内容は建物所管課からの修繕依頼によるものや法定点検等の指摘事項是正のための修繕で、漏水等の給排水設備関係22件、照明等電気設備関係20件、空調関係18件、建具等の建築関係16件、消防設備関係2件である。法定点検の指摘事項等、早急に対応する必要があるものは令和7年度内に修繕を完了した。

災害対策について

問　例年と違う購入物品及び修繕料の内訳を伺う。

答　主な購入品で例年と異なるものは災害時用保健対策物品で、災害発生時に保健師が各避難所を巡回する際に使用する血圧計や体温計等。備品購入費では防災行政無線固定系蓄電池10か所分20個、防災行政無線移動系携帯局蓄電池27個、防災行政無線移動系司令卓パソコン用UPSバッテリー。修繕料では備蓄のリフィルバッテリーや防災行政無線固定系の基地局、自主防災倉庫等市内倉庫の床や扉等の修繕を行った。

収納率の向上について

問　市税の収納率増の要因は何か。

答　収納率増の要因は、差押えや捜索といった滞納整理業務を積極的に実施し、滞納者に誠実に向き合って納税交渉を行うなど、収納課の職員が一丸となって取り組んだ日々の積み重ねが成果として表れた。令和6年度導入の財産調査システムの活用も軌道に乗り、令和7年度は、年間で2万件を超える調査を実施できたことによる早期差押えの実施も収納率増の一因となったと考えている。

外国人防災啓発動画について

問　動画の再生数や成果の受け止めを伺う。

答　動画は災害発生時の行動や避難の情報などを「やさしい日本語」を含む10言語の字幕で作成し、再生数は令和8年9月7日現在、合計で507件。配信開始から約5か月間で市内における外国人住民の約1割の人数に相当する再生件数で、外国人住民向けの防災の周知啓発として、一定の成果が得られたと考えている。今後も外国人住民向け防災講習会などで、動画の周知を図っていく。

帯状疱疹ワクチン予防接種について

問　接種者数の内訳と、接種率を伺う。

答　令和7年度より開始した、帯状疱疹ワクチン定期接種事業の接種実施者は775人、内訳は、1回で接種完了の生ワクチン接種者が244人、2回接種が必要な不活化ワクチンで、接種完了が504人、1回のみ完了が27人である。令和7年度接種完了者における接種率は22・1％であった。

高齢者見守り相談事業の委託料について

問　委託の内容を伺う。

答　本事業の委託内容は65歳以上の独り暮らしの方や高齢者世帯を2名の相談員が訪問するアウトリーチ型の見守り支援で要支援者がいた場合は情報収集や生活実態の把握を行って、将来に不安がある高齢者の相談支援を行っている。また、対応困難な事例や介護保険の申請が必要な場合は早期に適切なサービスにつながるよう地域包括支援センターや介護サービス事業所等に引き継いでいる。

スポットビジョンスクリーナーについて

問　導入の目的及び実績を伺う。

答　スポットビジョンスクリーナーは数秒で目の屈折異常などのリスクを測定できる機器で、子どもの負担が軽減できることから令和7年7月以降の3歳児健診から導入。受診者数の6・3％に当たる15件の異常を判定したほか、令和6年度では検査を嫌がったり指示が理解できないなど、十分な検査を実施できなかった子どもがいたが、導入後は全員の検査を実施することができた。

空き家住宅除去助成金について

問　助成の基準と実績を伺う。

答　令和7年度実績は、戸建て住宅が8棟分で240万円、共同住宅が5棟分で364万1千円。助成金額の基準は上限額を戸建て住宅30万円、共同住宅100万円とし、助成対象は昭和56年5月31日以前に着工されたいわゆる旧耐震基準の建物で、1年以上居住の用に供していない空き家住宅及び門や塀など構造物の除却工事費用の2分の1または上限額の低いほうの金額としている。

幼保小中連携事業について

問　主な取り組みを伺う。

答　令和7年度は「福生版幼保小連携推進ガイドブック」を活用、保育者と小学校教員の相互参観、日常的な情報共有を柱とし、幼保小連携推進通信「かけはし」を年4回発行するとともに、学校の予定や児童の安全確保、感染症による臨時休業等を幼稚園、保育園等へ日常的に情報提供したほか、2月の連携推進委員会では幼児教育の有識者を講師に市内17園の保育者と全小学校の担当教員による研修会を実施した。

デジタルを活用したこれからの学び事業について

問　都教育委員会が作成した指導計画と実施内容を伺う。

答　令和7年度は「学びのプロセスを自ら決定する学習」をテーマに、都教育委員会が作成した指導計画に基づき、実践研究を行った。福生第七小学校では第2学年生活科「めざせ虫博士」で、虫の紹介動画の作成などでiPadを活用した。福生第二中学校では第1学年国語科で生徒が書いたエッセイをクラウド上で共有、他者との意見交換を通じ推敲を行った。



▲令和7年度一般会計決算を起立多数で認定

令和7年度　会計別決算額

（単位：円）

会計区分		歳入決算額	歳出決算額	残額（翌年度繰越額）
一般会計		32,754,440,633	31,104,423,570	1,650,017,063
特別会計	国民健康保険特別会計	6,613,179,242	6,253,281,263	359,897,979
	介護保険特別会計	5,499,631,597	5,210,054,441	289,577,156
	後期高齢者医療特別会計	1,672,692,339	1,646,335,523	26,356,816
総合計		46,539,943,811	44,214,094,797	2,325,849,014

下水道事業会計

（単位：円）

	収入決算額	支出決算額
収益的収支	1,615,846,608	1,319,335,461
資本的収支	615,358,688	1,150,375,581

SNSで市議会の情報を発信しています！
X（旧Twitter）
facebook

議案の審議結果（○賛成　×反対）

録画映像をご覧いただけます
※スポーツ・文化を通じて人づくりと街づくりの会

	議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	生活者ネットワーク	立憲民主党	日本維新の会	スポーツ・文化の会※	議決結果
令和8年第3回定例会	**市長提出議案**									
	議案第36号	福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第37号	福生市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第38号	令和8年度福生市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第39号	令和8年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第40号	令和8年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第41号	令和8年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第42号	令和7年度福生市一般会計決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	認定
	議案第43号	令和7年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	認定
	議案第44号	令和7年度福生市介護保険特別会計決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	認定
	議案第45号	令和7年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	認定
	議案第46号	令和7年度福生市下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第47号	福生市児童館等施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第48号	福生野球場人工芝改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第49号	福生市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第50号	福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第51号	福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意
	委員会提出議案									
	委員会提出議案第2号	福生よいとこ議会基本条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	委員会提出議案第3号	福生市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議員提出議案									
	議員提出議案第4号	憲法第99条に定める憲法尊重擁護義務の厳守を国に求める意見書	×	×	○	○	○	×	○	否決

可決された案件（要旨）

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、寄附金税額控除、固定資産税の免税点等に関する規定を整備するほか、特定暗号資産に係る課税の特例等に関する規定を定めるため、条例を改正するもの。

●福生市都市計画税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、改修特別特定建築物に係る課税の特例の割合を定めるとともに、引用する規定を整理するため、条例を改正するもの。

●令和8年度福生市一般会計補正予算(第4号)

歳入では、普通交付税の減額及び前年度繰越金などの増額、歳出では、保育所・幼稚園等物価高騰対策補助金の増額や、せせらぎ遊歩道公園ののり面対策のほか、令和7年度の精算に伴う国庫補助金等の返還に当たり、歳入歳出それぞれ14億9222万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を326億5508万6千円とするもの。

主な歳入は、普通交付税額の確定に伴う地方交付税7526万5千円の減のほか、都補助金1699万4千円、令和7年度決算に伴う特別会計繰入金2億1169万円及び前年度繰越金13億3880万7千円。

主な歳出は、社会福祉費445万6千円、児童福祉費7322万4千円、生活保護費1億846万7千円、保健衛生費143万7千円が令和7年度精算により生じた国及び都への返還金等。そのほか都市計画費5482万円、教育総務費120万円、公債費423万1千円の減、基金費12億5千万円。

●令和8年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

保険料軽減の対象年齢拡大に伴うシステム改良や令和7年度福生市国民健康保険特別会計の決算に伴う繰越金、保険給付費等交付金の精算等の実施に当たり、歳入歳出予算にそれぞれ3億6025万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を69億3050万7千円とするもの。

●令和8年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

令和7年度の介護給付費等の確定に伴い、介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金及び一般会計からの繰入金の精算のため、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億87万2千円を追加、総額を歳入歳出それぞれ60億3200万9千円とするもの。

●令和8年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

全国特別重点調査の結果に伴う下水道施設の修繕事業及び多摩川第7排水区管渠更生事業の事業量の増加に伴う工事請負費の増額等の2事業を進めるに当たり、下水道事業収益を16億3298万9千円、下水道事業費用を15億3960万3千円、資本的収入を14億9455万9千円、資本的支出を23億5587万9千円とするもの。また、下水道施設修繕費の財源として企業債1670万円を借り入れる。

●令和7年度福生市一般会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正9回を加え327億7847万9千円。歳入決算は327億5444万6331円、前年度比15・3%の減。歳出決算は311億4422万3570円、16・4%の減。歳入歳出差引残額は16億5001万7063円。

●令和7年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正2回を加え16億7538万5千円。歳入決算は16億7269万2339円、前年度比7・2%の増。歳出決算は16億4633万5523円、前年度比7・1%の増。歳入歳出差引残額は2635万6816円。

●令和7年度福生市下水道事業会計決算認定について

収益的収入及び支出の収入決算は16億1584万7千円で前年度比3・4%の減。支出決算は13億1933万5千円で前年度比1・8%の増。資本的収入及び支出の収入決算は6億1535万9千円で前年度比2・8%の増、支出決算は11億5037万6千円で前年度比12・8%の増。

●福生市児童館等施設の指定管理者の指定について

指定期間終了後も引き続き指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。

●福生野球場人工芝改修工事請負契約

同施設の人工芝の改修等の工事を発注するに当たり、予定価格が1億5千万円以上となることから、条例の規定により議会の同意を得るもの。

●福生市教育委員会委員の任命について

令和7年10月以降1名が欠員となっていたが、新たに髙山雅代氏を教育委員会委員として任命することに同意するもの。

●福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了となる加藤眞司委員を引き続き固定資産評価審査委員に選任することに同意するもの。

●福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について

野島憲一委員の任期満了に伴い、新たに芝﨑勇介氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意するもの。

●福生よいとこ議会基本条例

市民福祉の向上及び民主的な市政の発展を図る

ため、議会及び議員の活動原則その他の議会における基本事項を定める条例を新たに制定するもの。

●福生市議会会議規則の一部を改正する規則

福生よいとこ議会基本条例の制定に伴い、反問、委員間討議及び広報広聴委員会に関する規定を定めるとともに、規定を整理するため、規則を改正するもの。

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択

○石綿暴露防止体制強化を求める陳情書（8－9号）

（不採択理由）

事前調査、除去及び飛散防止については、国及び東京都の関係法令等に基づく制度が整備されており、災害時の対策についても、国、東京都及びその関係機関と連携して対応する体制が構築されているため、市独自の新たな制度や体制を設ける必要性は認められないことから、意に沿い難い。

○憲法第99条に定める憲法尊重擁護義務の厳守を国に求める意見書の提出を求める陳情書（8－10号）

（不採択理由）

憲法改正の議論は、憲法第96条に基づき、国会で行われるものであり、総理大臣及び内閣には認められていない。これは、今までの内閣及び現内閣でもしっかりと守られているところであり、憲法尊重擁護義務は守られていると判断できることから、意に沿い難い。

討論

●令和7年度福生市一般会計決算認定について

■反対

令和6年度決算は学校給食費無償化が実現し賛成したが、7年度決算には義務教育の保護者負担ゼロへ進む新たな一歩がなかった。財政調整基金など各基金には積み増しする一方で、今の市民生活を支える施策を後回しにしており、本決算に反対する。

■賛成

実質収支額は、市税の増収により1200万円の単年度黒字となった。厳しい財政事情の中、国や東京都からの支出金を積極的に活用し、市民の安心・安全とサービスの向上のため各事業が行われている。これからも財政の健全化への一層の努力を期待し、本決算に賛成する。

■賛成

財産調査システムの活用等による収納率の向上、ペットボトルの水平リサイクルによる環境負荷低減、公式LINEへの生成AI導入など行政DXの推進、英語教育の充実でGTEC平均スコアが全国平均を上回るなど、行政改革や教育施策の確かな前進が認められ、本決算に賛成する。

■賛成

福生市ゼロカーボンシティ宣言の表明後、猛暑の中電気使用量と温室効果ガスの排出量を削減できたのは大きな成果。また、福生市こども計画スタートの年にこども食堂運営補助金や多文化キッズサロンの設置など、子供の居場所づくりに注力されたことも評価し、本決算に賛成する。

■賛成

都の施策で第1子の保育料が無償化されたことによる余力で子供の医療費助成の一部負担を廃止したことや、市と事業者双方に利点がある電子契約サービスの導入など、業務を効率化し、知恵を持って各事業に予算を振り分けた取り組みを評価し、本決算に賛成する。

■賛成

武蔵野台テニスコートの改修などスポーツ施設全般の計画的な更新、文化活動では公民館サークルや市民活動団体等との協働事業の実施、その他、DXの推進やこども家庭センターへの機能強化など、細部にわたって行き届いていた1年であり、本決算に賛成する。

●憲法第99条に定める憲法尊重擁護義務の厳守を国に求める意見書

■反対

憲法第99条の義務とは現に効力を有する憲法の遵守であり、改正の主張や議論を禁ずるものではない。憲法改正は最終的には国民投票により主権者である国民が決めるものであり、入り口を閉ざさず国民全体で真剣に議論することが大切と考え、本意見書に反対する。

■賛成

憲法前文は再び戦争の惨禍を起こさないと決意を掲げ、第99条はこれを現実の政治で守る義務を課している。発議権を持たない内閣が行政権を背景に改憲を掲げることは立憲主義の点から問題だ。平和な外交と対話を進める政治への転換が必要で、本意見書に賛成する。

そのほか次の議案に対しても討論がありました。

●令和7年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●令和7年度福生市介護保険特別会計決算認定について

●令和7年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

●石綿暴露防止体制強化を求める陳情書

委員会の審査から

各常任委員会から報告された主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

9月15日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、不採択となりました。

●令和8年度福生市一般会計補正予算（第4号）（建設環境委員会所管分）

問　せせらぎ遊歩道公園整備事業について、今回の工事により、のり面の安全性が高まるという認識で良いか伺う。

答　令和7年度に応急対策工事を実施したが、今回は長期的にのり面を安定させる工事を実施することから、より安全性が高まる。



▲のり面工事後の様子

●令和8年度福生市下水道事業会計補正予算（第1号）

問　下水道施設修繕費2083万円の特定財源として企業債1670万円を借り入れるとあるが、予定利率と償還を予定する期間について伺う。

答　予定利率は、現時点では決まってない。償還を予定する期間は10年の借入れを予定している。

●令和7年度福生市下水道事業会計決算認定について

問　市は現在の下水道事業の経営状況についてどのように評価しているのか伺う。

答　各種経営指標や約2億7380万円の純利益が示す通り、全体として良好かつ安定的な経営ができているものと評価している。

市民厚生委員会

9月16日に委員会が開催され、7件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●令和8年度福生市一般会計補正予算（第4号）（市民厚生委員会所管分）

問　特定不妊治療費助成金（対象拡大分）の詳細を伺う。

答　令和8年4月1日以降に保険適用の特定不妊治療を開始した方を対象として、これまで助成していた先進医療分に加えて、保険適用となる治療費の自己負担分、3割負担分も助成対象とするとともに、助成の上限額を5万円から10万円に増額する。なお、今回の改正により、都内26市で最高額となるとともに、23区含め都内全体でも上位の助成額になるものと認識している。



●令和8年度福生市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

問　保険料軽減の対象年齢拡大への対応に伴うシステム改良の詳細を伺う。

答　未就学児に対して行っている保険料均等割の5割軽減について、令和8年5月に成立した健康保険法の一部を改正する法律により、令和9年4月から高校生年代まで対象年齢が拡大されるため、保険税の算定を行うシステムの改修を行うものである。

●令和8年度福生市介護保険特別会計補正予算（第1号）

問　令和8年度の介護給付費準備基金の総額について伺う。

答　令和8年度は令和7年度の決算余剰金及び定期預金利息分の1億8578万8659円の積み立てを行う一方で、1億9千万円の取り崩しを予定していることから、令和8年度末の基金残高は8億4247万1276円になると見込んでいる。

●令和7年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

問　特定健康診査事業の受診率向上の取り組みについて伺う。

答　受診率向上の取り組みとして、勧奨通知を4種類作成。通常の勧奨通知に加え、血圧、脂質、血糖と、その方の前年度の健診結果に合わせて色みや内容を分け、数値の改善方法や放置した場合のリスク等を記載し、継続的な受診勧奨に加え、数値の改善にも役立てられるものとした。また令和7年度は健診期間を半月間前倒しで実施し、受診率は46％に向上した。

●令和7年度福生市介護保険特別会計決算認定について

問　認知症総合支援事業の「オレンジガーデニングプロジェクト」について伺う。

答　令和7年度に新たに実施したこのプロジェクトは、認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこうという思いを共有をし、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を楽

しみながら育て、咲かせるものである。市内の小・中学校や都立福生高等学校、市内金融機関や介護サービス事業所等42団体から御賛同をいただき、実施した。

●令和7年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

問　広域連合分賦金における保険料軽減措置負担金の減額理由を伺う。

答　未納となる想定額を市の負担で補填する未収金補填分の費用が、未収金額の減少や、令和6年度精算分との相殺などにより減少している。

●福生市児童館等施設の指定管理者の指定について

問　指定管理者からの新たな取り組みの提案について伺う。

答　児童館でナイトシアターや防災訓練を兼ねた宿泊事業を実施するほか、学童クラブで保育所等と連携したプレ学童事業等を行うといった提案があった。

総務文教委員会

9月17日に委員会が開催され、4件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、採択となりました。

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

問　特定暗号資産の譲渡所得の課税の特例について、改正の背景を伺う。

答　投資家保護のための税負担の軽減とデジタル社会の国際的な競争力強化を目的として改正となったものである。

●福生市都市計画税条例の一部を改正する条例

質疑なし。

●令和8年度福生市一般会計補正予算(第4号)(総務文教委員会所管分)

問　電子決裁及び電子請求との連携が可能なシステムを導入し、事務の効率化を図るとあるが、どのような効果を見込まれているのか伺う。

答　現在の紙での起票、決裁等の手続をデジタル化することにより、職員のテレワーク対応や、出先の職員が伝票を持ち込む必要がなくなり移動時間の削減の効果が期待できる。また、電子請求を導入することで、手入力による入力ミスの削減やペーパーレス化の効果もあると考えている。

●福生野球場人工芝改修工事請負契約

問　入札金額82・3％について、低入札の調査を行ったということであるが、調査の詳細を伺う。

答　低入札価格調査については、当市の低入札価格調査実施要領に定める手順により実施。

今回の調査では、特に資材価格等が当初の積算額より低くなった理由について重点的にヒアリングを行った。その結果、落札者における資材の調達方法等の工夫により、当市の積算よりも当該費用を大幅に抑えることができたことを確認している。このことが今回の入札価格に反映されたものと考えている。


▲福生野球場

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

9月18日に委員会が開催され、2件の議題について審査しました。

1　横田基地に関する情報等について

7月10日に「第374空輸航空団司令官交代式」が行われ、リチャードF.マックエルハニー大佐から、ダニエル　E.メンドーザ大佐に交代された。

8月9日から11日の「令和8年熊本地震に係る米軍による輸送支援」について、「米軍輸送機により、横田基地から被災地まで、救援物資を輸送する予定である」などとの情報提供があった。

9月15日の三沢基地所属RQ-4B(グローバルホーク)の墜落について、概要は9月15日午後0時58分頃、航空自衛隊三沢基地所属のRQ-4B、1機が鳥取県沖北約50kmの洋上でレーダーロストした。海上自衛隊「はやぶさ」が撮影した浮遊物の写真により本機体は墜落したものと断定した。部外への被害状況は9月17日午前6時時点で被害情報なし。

2　国有提供施設等所在市町村助成交付金等に関する要望について

①交付金の増額について
②対象資産の範囲の拡大・拡充について等、4項目について本定例会終了後に要望することを決定した。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会改革の協議を行う議会運営委員会が閉会中も含め7回開催されました。

また、これまで協議を行ってきた議会基本条例が今定例会で制定されました。



「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局　☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。

次回定例会【令和8年第4回】のお知らせ(予定)

～ぜひ、傍聴にお越しください～

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30	12/1 一般質問 本会議 午前10時開会	2 一般質問	3 一般質問	4 一般質問	5
6	7	8 常任委員会 午前10時開会	9	10	11	12
13	14	15 議会運営委員会 午前10時開会	16	17	18 本会議 午前10時開会	19

会期：令和8年12月1日～12月18日

※会期中に特別委員会が開催される予定です。 ※日程は変更になることがあります。

議場には、補聴器をお使いの方、高齢等で聴き取りにくい方のために音声を送るヒアリングループを導入しています。

※請願・陳情の提出締切：11月10日(火)までに議会事務局へご持参ください。

福生よいとこ議会基本条例を制定しました

福生市議会は、市民の皆様の声を市政に届け、開かれた議会として取り組むため、「福生よいとこ議会基本条例」を制定しました。

この条例では、議会と議員が透明性・公正性を確保し、行政を監視・評価しながら、政策立案・政策提言に取り組むことを定めています。

政務活動費の適正な執行や、災害等の迅速な対応、議会改革の継続的な見直しについても明確にしています。

また、ICT（情報通信技術）を活用し、わかりやすい議会運営を進め、市民との対話を深めるため、議会報告会開催に向けて取り組んでいきます。

今後とも、市民に開かれた議会を目指して取り組みます。

詳しくはこちら

パブリック・コメントの結果はこちら

編集後記

今年は線状降水帯による記録的な豪雨や台風等により、各地で甚大な被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

第3回定例会では、令和7年度一般会計及び特別会計決算の審査が行われ、予算が適正かつ効率的に執行されたか、また、各事業の成果と課題を確認しました。

一方で、物価高騰や社会保障費の増加、公共施設の老朽化など、今後も財政需要が増していくことが見込まれます。限られた財源を有効に活用するために、事業の必要性や効果を不断に検証し、将来世代への負担にも配慮した財政運営が行われるよう議会としても取り組んでまいります。

また、今定例会では、市民に開かれた議会づくりを進めるため「福生よいとこ議会基本条例」を制定し、新たに広報広聴委員会が設置されました。

広報広聴委員会では、市議会だよりの編集や議会報告会等の実施、情報発信について、市民の意見・要望等の聴取についてなどを協議してまいります。今後は、議会報告会の開催に向けて、具体的な準備や検討をしてまいります。